

○倫理委員会審議要旨

○平成26年度

・第1回 (平成26年9月17日開催)

受付番号	1
申請者	院長 南方 良章
申請課題	COPD患者の身体活動性規程因子分析と医療介入による改善効果の検討
研究の主旨	COPD患者の身体活動性を評価し、それに影響を及ぼす因子の検討と、リハビリや気管支拡張薬などを含めた複数の医療介入による身体活動性改善効果について検討する
審査結果	条件付承認 <ul style="list-style-type: none"> ・患者への説明文書の記述に難解なところがあるので、対象患者に対し口頭でも十分に説明し、理解と同意を得た上で実施すること ・患者への説明文書について、「患者様」「患者さん」の表記をどちらかに統一すること

受付番号	2
申請者	小児科医師 西本 幸弘
申請課題	当院が職務上重要と考える障害児者虐待の内容
研究の主旨	2012年10月1日から障害者虐待防止法が施行され、重症心身障害児者病棟の入院患者の虐待防止にかかる障害福祉サービス事業者の責務が明確化された。当院の職員（特に重心担当医師、看護師、療育指導室、療養介助専門員、リハビリテーション科）は、障害をもった患者にかかわる機会が多い。しかしながら、すべての職員がどのような虐待内容を重要と考えながら障害者のケアや介護、対応に心がけているのかはわかっていない。これを明らかにすることにより、病院内での虐待防止に向けた具体的な取り組みと障害をもった入院患者に安全と安心を提供できるサービス向上に役立てることが期待できる。
審査結果	承認

受付番号	3
申請者	薬剤師 加藤 あい
申請課題	カルペリチド長期投与における有効性・安全性の検討
研究の主旨	カルペリチド（hANP）は1995年より急性心不全に対して使用されているが、長期投与についての報告が少ない。しかし当院では長期にhANPを投与する症例が散見される。そこで当院での使用状況について調査し、長期投与の有効性および安全性について後方視的に調査した。
審査結果	承認

受付番号	4
申請者	臨床検査技師 坪井 俊裕
申請課題	当院で分離培養された結核菌の抗結核薬剤感受性検査結果について
研究の主旨	和歌山県は、人口あたりの結核新規発祥数が全国的にみて極めて高い地域であり、当院は県の結核診療の中心的病院として政策医療を担っている。そこで、当院で分離同定された結核菌について薬剤耐性状況及び動向を把握するために調査を行った。
審査結果	承認

受付番号	5
申請者	薬剤科長 山内 一恭
申請課題	リレンザのネブライザーによる吸入療法
研究の主旨	A型インフルエンザでは、タミフル、ラピアクタ耐性株が確認されており、リレンザ、イナビルを吸入困難な患者に使用する。
審査結果	条件付承認 ・添付文書による適応外の使用であるため、原則として文書ないし口頭にて同意を得ること。 ・重症心身障害児者等で本人の同意が得られず、保護者、後見人等ともすぐに連絡がとれない場合で、患者の病状、院内感染対策上の必要等により緊急に本療法の実施が必要と考えられる場合については、病院としての判断を迅速に行った上で実施の可否を判断すること。